

令和5年3月24日

**広島サミット記念留学生スピーチコンテストを開催します**

本年5月の2023年主要国首脳会議（G7サミット）開催を機に、世界各地から広島に訪れ、平和、地球、わたしたちの未来について考えた留学生が、自らの考えを日本語で世界に向けて発信することを目的とした、「広島サミット記念留学生スピーチコンテスト」を開催することといたしました。

【日 時】 令和5年4月14日（金）15：00～17：30

【会 場】 広島大学霞キャンパス 凌雲棟5階R501（広島市南区霞 1-2-3）

【開催方式】 ハイブリッド開催（現地開催及びオンライン配信）

【主 催】 広島サミット協力大学協議会

（構成大学：（代表）広島大学、叡啓大学、尾道市立大学、県立広島大学、広島市立大学、福山市立大学、エリザベト音楽大学、近畿大学工学部、日本赤十字広島看護大学、広島経済大学、広島工業大学、広島国際大学、広島修道大学、広島女学院大学、広島都市学園大学、広島文化学園大学、広島文教大学、比治山大学、福山大学、福山平成大学、安田女子大学）

【テーマ】 広島で考える、平和と地球とわたしたちの未来

【目 的】 世界各地から広島に来て、平和、地球、わたしたちの未来について考えた留学生が、自らの考えを日本語で世界に向けて発信する。

【応募資格】 ① コンテスト開催当日時点で広島サミット協力大学協議会の構成大学に在籍している外国人留学生で、日本語を母語としない方。

② 4月14日（金）に開催されるコンテスト本選に、会場で出場すること可能な方。

【応募者数】 8大学27名

※ 応募者27名のうち、各大学から推薦された合計21名を対象に、現在、出場者10名を決める予選審査中。

【お問い合わせ先】

国際室国際部グローバル化推進グループ 松田  
TEL:082-424-6042 FAX:082-424-6179

令和5年3月24日

G7 広島サミットに向けたプラネタリーヘルス大学間パネル  
「持続可能な地球環境のためのプラネタリーヘルス  
未来を切り開く学際融合研究」を開催します

< 概要 >

広島大学は、G7 広島サミットに向けて、日本でプラネタリーヘルスを牽引している5大学とともにプラネタリーヘルス大学間パネルを開催します。そして、プラネタリーヘルスが取り組むべき人間から社会、地球環境まで時空間に広がるグローバル課題の解決の解像度を高め、その解決に必要な幅広い分野の融合型学際研究において、大学が果たすべき役割を議論します。

日時：2023年4月21日（金）13:00～17:00

開場：広島大学フェニックス国際センター  
(MIRAI CREA)・Zoom 配信

言語：日英同時通訳

要事前登録



プログラム

13:00 開会挨拶

金子 慎治（広島大学理事・副学長（グローバル化担当））

田中 純子（広島大学理事・副学長（霞地区・教員人事・広報担当））

13:20 趣旨説明

鹿嶋 小緒里（広島大学 IDEC 国際連携機構プラネタリーヘルスイノベーションサイエンスセンター (PHIS) ・センター長）

13:30 基調講演

「持続可能な地球環境のためのプラネタリーヘルスの未来」

アントニ・プラセンタ・タラダチ

（バルセロナ国際衛生研究所 (ISGlobal) ・所長）

15:00 大学間パネル

モデレーター：中村 安秀（公益社団法人日本 WHO 協会・理事長）

パネリスト：

鈴木 定彦（北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所・卓越教授（所長））

中村 桂子（東京医科歯科大学大学院国際保健医療事業開発学分野・教授）

橋爪 真弘（東京大学医学系研究科国際保健政策学・教授）

渡辺 知保（長崎大学大学院プラネタリー・ヘルス学環・教授（学環長））

藤原 章正（広島大学 IDEC 国際連携機構・教授）

16:45 シンポジウム宣言

中村 安秀（公益社団法人日本 WHO 協会・理事長）

16:55 閉会挨拶

新福 洋子（広島大学副学長（国際広報担当））

【お問い合わせ先】

IDEC国際連携機構 PHISセンター 担当：渡邊

TEL:082-424-4314

Email: symposium@idec.hiroshima-u.ac.jp

P L A N E T A R Y H E A L T H

Hokkaido University  
北海道大学

Tokyo Medical and Dental University  
東京医科歯科大学

Hiroshima University  
広島大学

The University of Tokyo  
東京大学

Nagasaki University  
長崎大学

G7 広島サミットに向けたプラネタリーヘルス大学間パネル  
The University Panel Symposium on Planetary Health for the G7 Hiroshima Summit

# 未来を切り開く学際融合研究

Open Up the Future by Interdisciplinary Research

2023年  
4.21 [FRIDAY]

参加費無料  
Registration fee is free!

日本語・英語同時通訳  
Japanese / English

開会 13:00 閉会 -17:00

広島大学フェニックス国際センター (MIRAI CREA)  
東広島市鏡山 1-4-5 / 1-4-5 Kagamiyama Higashi-Hiroshima

●LIVE オンライン同時開催 Zoom

## 基調講演 / Keynote Speech



持続可能な地球環境のための  
プラネタリーヘルスの未来  
The Future of Planetary Health

アントニ・プラセンタ・タラダチ  
Antoni Plasència Taradach

バルセロナ国際衛生研究所 (ISGlobal) 所長  
Director General of the Barcelona Institute of Global Health (ISGlobal)

ISGlobal Barcelona  
Institute for Global Health

## パネルディスカッション / The University Panel Symposium on Planetary Health

モデレーター / Moderator 公益社団法人日本 WHO 協会 理事長 中村 安秀 Friends of WHO JAPAN, President, Dr. Yasuhide NAKAMURA  
パネリスト / Panelists

北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所 卓越教授 鈴木 定彦 Hokkaido University, Prof. Sadahiko SUZUKI

東京医科歯科大学大学院国際保健医療事業開発学 教授 中村 桂子 Tokyo Medical and Dental University, Prof. Keiko NAKAMURA

東京大学医学系研究科国際保健政策学 教授 橋爪 真弘 The University of Tokyo, Prof. Masahiro HASHIZUME

長崎大学大学院プラネタリー・ヘルス学環長 教授 渡辺 知保 Nagasaki University, Prof. Chiho WATANABE

広島大学 IDEC 国際連携機構 PHIS/ 大学院先進理工系科学研究科 教授 藤原 章正 Hiroshima University, Prof. Akimasa FUJIWARA

主催：広島大学 IDEC 国際連携機構・広島大学  
共催：長崎大学  
後援：日本医療政策機構 (公財) 日本 WHO 協会  
プラネタリーヘルスアライアンス  
プラネタリーヘルスアライアンス日本支部  
東広島市 広島大学先進理工系科学研究科



## お問合せ / Contact

広島大学 IDEC 国際連携機構  
プラネタリーヘルスイノベーションセンター  
電話：082-424-4314  
メール：symposium@idec.hiroshima-u.ac.jp

参加申込み  
Registration is required.

ここをクリック  
Click here



IDEC seminar #15 / PHIS seminar #8

令和 5 年 3 月 24 日

**G7 広島サミット & 広島大学 75+75 周年記念事業の一環として、  
“食料安全保障シンポジウム～食料の量・質の担保と生物多様性維持の両立は可能か?～” を 4 月に開催します**

来る 2024 年は広島大学の創立 75 周年であり、その前史である 75 年も加えると 150 年という節目の年に当たります。また、2023 年 5 月には G7 広島サミットが開催されます。この記念事業の一環として、広島大学は“食料安全保障シンポジウム”を下記のとおり開催します。

本シンポジウムでは、食料安全保障のための政府の基本方針に加え、世界規模の食料安全保障に貢献できる日本最先端の研究事例を生物多様性の維持の観点ももちながら紹介します。

本学研究者からは、動物福祉と牛乳生産量を両立させる最新 DX 酪農技術や、海底水を自動で高所に揚げる装置を利用した牡蠣（カキ）の増産、塩害に強いイネに関する研究を紹介いたします。

広島大学の理念 5 原則（平和を希求する精神、新たなる知の創造、豊かな人間性を培う教育、地域社会・国際社会との共存、絶えざる自己変革）に基づき、本学は「食料安全保障」に関する国際課題の解決に貢献するべく、共創・創発的な教育研究に取り組んで参ります。生命の維持に欠くことができないものである“食料”について、ご参加の皆様一人一人改めて考えていただくだけでなく、食料安全保障に関わる人材育成の一助となれば幸いに存じます。

記

【日時】 4 月 22 日（土）14：00～16：30（開場 13：30）

【会場】 広島大学サタケメモリアルホール（東広島キャンパス）

【講演者】 [基調講演]

杉中 淳 大臣官房総括審議官

[日本の研究紹介]

北島 薫 教授（京都大学）

吉崎 悟朗 教授（東京海洋大学）

川島 一公 CTO（株式会社インテグリカルチャー）

水野 英則 技術本部本部長（株式会社サタケ）

[広島大学の研究紹介]

杉野 利久 教授

小池 一彦 教授

上田 晃弘 教授

【対象】 誰でも参加できます（“食”への関心がある方、高校生以上推奨）

※入場無料

【申込み】

<https://onl.bz/XJQYtDU> または QR コード→



【お問い合わせ先】

未来共創科学研究本部／学術・社会連携室

宮良 晶子、重藤 潤、久保田 旭

E-mail: [hussympo@hiroshima-u.ac.jp](mailto:hussympo@hiroshima-u.ac.jp)

TEL:082-424-2057、4532、4482



食料の量・質の担保と  
生物多様性維持の  
両立は可能か？

2024 G7広島サミット & 広島大学75+75周年記念行事

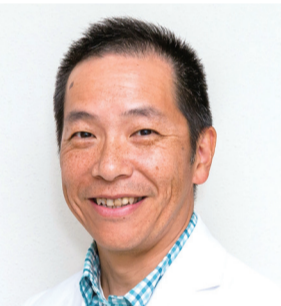
# 食料安全保障シンポジウム

Food Security Symposium  
2023 **4.22** SAT  
14:00-16:30  
開場 13:30~

- 会場：サタケメモリアルホール (広島大学 東広島キャンパス)
- 対象：どなたでも参加できます。



北島薫



吉崎悟朗



川島一公



水野英則

プログラム	14:00~	開会挨拶
【司会】 理事・副学長 広島大学 理事・副学長 (教育担当)	14:05~	ビデオメッセージ
	14:10~	基調講演
	14:30~	事例報告
	15:50~	広島大学研究紹介
	16:05~	パネルディスカッション
	16:25~	閉会の挨拶

越智光夫 広島大学 学長

日本の食料安全保障対策 (仮題) 杉中淳 大臣官房総括審議官 農林水産省

## 1 生物多様性を維持する持続的な農業

北島薫 教授 (京都大学 農学研究科)  
熱帯林の生物多様性とグローバルな食料安全保障

## 2 生物多様性と質と量を確保する農業技術開発

吉崎悟朗 教授 (東京海洋大学 海洋科学技術研究科)  
生殖幹細胞を使って魚を増やす：有用魚の増産と希少種の保全

## 3 新たな食料資源の開発

川島一公 (株)インテグリアルチャー 取締役CTO  
環境コストの削減と食糧自給率の向上を実現する細胞性食品 (培養肉) の開発

## 4 食料安全保障への取り組み

水野英則 (株)サタケ 先行技術本部 本部長  
食(米)の安全・安心と質・量を確保する技術

光環境で動物福祉と牛乳生産量を増加させる最新DX酪農技術 杉野利久 教授 (広島大学 大学院統合生命科学研究科)

海底水自動揚水装置SPALOWによる牡蠣(カキ)増産 小池一彦 教授 (広島大学 大学院統合生命科学研究科)

世界で広がる塩害問題~耐塩性イネを作る試み~ 上田晃弘 教授 (広島大学 大学院統合生命科学研究科)

MC：島田昌之 教授 (広島大学 大学院統合生命科学研究科)

理事・副学長 広島大学 理事・副学長 (学術・社会連携担当)

事前登録制  
**参加無料**  
定員 **500**人





広島大学



Creating the Future  
SATAKE



食料の量・質の担保と  
生物多様性維持の両立は可能か？

G7広島サミット & 広島大学75+75周年記念行事

2024  
75  
150th  
ANNIVERSARY

# 食料安全保障 シンポジウム

Food Security  
Symposium

2023 4.22 SAT  
14:00-16:30  
開場 / 13:30~

- 会場：サタケメモリアルホール（広島大学 東広島キャンパス）
- 対象：どなたでも参加できます。

事前登録制  
参加無料  
定員 / 500人

主催

特別協賛

広島大学 株式会社サタケ

お問い合わせ

広島大学 未来共創科学研究本部 / 学術・社会連携室  
TEL.082-424-2057 / 4532 / 4482 E-Mail : husympo@hiroshima-u.ac.jp

シンポジウム参加のお申し込みは  
右記のQRコードより登録ください。

申込締切  
2023年4月15日 土



# 食料の量・質の担保と生物多様性維持の両立は可能か？

G7広島サミット & 広島大学75+75周年記念行事

## 食料安全保障シンポジウム



広島大学長 越智光夫

食料安全保障とは、すべての人が、いかなる時にも、活動的で健康的な生活に必要な食生活上のニーズと嗜好を満たすために、十分に安全かつ栄養ある食料を、物理的、社会的及び経済的にも収取可能であることです。この食料安全保障の危機は、世界的な人口増加などによる食料需要の増大だけでなく、食料貿易構造の変化によりサプライチェーンの混乱に加えて、気候変動による農作物の生産量低下などにより引き起こされています。食料増産と気候変動は密接な関係にあり、それらは環境破壊だけでなく多くの生物種の絶滅を引き起こすため、生物の多様性を維持できる条件下で、食料安全保障を実現することが、グローバルな社会の持続的な発展に必要となっています。そこで、本シンポジウムでは、グローバルな視点と日本の食料安全保障対策の観点から、①生物多様性を維持する農業、②質と量を確保する農業技術開発、③新たな食料資源の開発について考えるとともに、これらに貢献する広島大学の研究を紹介します。

### プログラム

【司会】理事・副学長 広島大学 理事・副学長 (教育担当)

- 14:00～ 開会挨拶 ..... **越智光夫** 広島大学 学長
- 14:05～ ビデオメッセージ
- 14:10～ 基調講演 ..... **日本の食料安全保障対策** (仮題) 杉中淳 大臣官房総括審議官 農林水産省
- 14:30～ 事例報告 ..... **1 生物多様性を維持する持続的な農業**  
北島薫 教授 (京都大学 農学研究科)  
熱帯林の生物多様性とグローバルな食料安全保障
- ..... **2 生物多様性と質と量を確保する農業技術開発**  
吉崎悟朗 教授 (東京海洋大学 海洋科学技術研究科)  
生殖幹細胞を使って魚を増やす：有用魚の増産と希少種の保全
- ..... **3 新たな食料資源の開発**  
川島一公 (株)インテグリカルチャー 取締役CTO  
環境コストの削減と食糧自給率の向上を実現する細胞性食品 (培養肉) の開発
- ..... **4 食料安全保障への取り組み**  
水野英則 (株)サタケ 先行技術本部本部長  
食(米)の安全・安心と質・量を確保する技術
- 15:50～ 広島大学研究紹介 ..... **光と熱環境で動物福祉と牛乳生産量を両立させる最新DX酪農技術**  
杉野利久 教授 (広島大学 大学院統合生命科学研究科)
- ..... **海底水自動揚水装置SPALOWによる牡蠣(カキ)増産**  
小池一彦 教授 (広島大学 大学院統合生命科学研究科)
- ..... **世界で広がる塩害問題～耐塩性イネを作る試み～**  
上田晃弘 教授 (広島大学 大学院統合生命科学研究科)
- 16:05～ パネルディスカッション ..... **MC: 島田昌之** 教授 (広島大学 大学院統合生命科学研究科)
- 16:20～ 閉会の挨拶 ..... **理事・副学長** 広島大学 理事・副学長 (学術・社会連携担当)



北島薫



吉崎悟朗



川島一公



水野英則



杉野利久



小池一彦



上田晃弘

主催：広島大学／特別協賛：株式会社サタケ

広島大学 未来共創科学研究本部／学術・社会連携室

TEL. 082-424-2057 / 4532 / 4482 E-mail : husympo@hiroshima-u.ac.jp